

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	スポーツ実技V	
科目基礎情報							
科目番号	5015			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	各スポーツの基本ルールと技術についてのプリント（教員自作）、作戦及び自己評価カード（教員自作）						
担当教員	和多野 大,末吉 つねみ,島尻 真理子						
到達目標							
生涯スポーツを理解できるようにする。各スポーツの実践方法、基本技術を修得する。生涯にわたり自発的にスポーツを実践し、継続して身体活動を行う習慣を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		最低限必要な到達レベル（可）	
各スポーツの実践方法、基本ルール、基本技術を修得する。	各スポーツのルールを理解する。 基本技術を修得する。 審判ができる。			各スポーツのルールを理解する。 基本技術を修得する。		各スポーツのルールを理解する。 基本技術修得のための練習方法を知る。	
チームの戦術研究、作戦の立案、反省を通して、コミュニケーション能力を身につける。 また、スポーツのマナーとフェアプレイについて理解する。	仲間と協力し合い、練習やゲームに取り組む。 話し合いでは発言することができる。 チームをまとめることができる。			仲間と協力し合い、練習やゲームに取り組む。 話し合いでは発言することができる。		仲間と協力し合い、練習やゲームに積極的に取り組む。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	各スポーツのルールやマナー、安全対策について学習する。スポーツの技術・戦術の修得およびゲームを通じて、運動技能修得の方略とその楽しさを学習する。自身で目標を設定し、立案と内省を通し、学習到達度の確認および授業密度の向上をねらう。						
授業の進め方・方法	各スポーツ種目の学習はグループ学習を基本とする。球技ではチーム戦術の検討、作戦の立案と反省を通してコミュニケーション能力と自己学習能力を身につける。						
注意点	・実技では半袖シャツと短パン（ハーフパンツ可）を着用すること。 ・アクセサリや腕時計等は安全のため外すこと。 ・やむを得ない事情によって見学を希望する場合は、授業開始前に見学届を提出すること。 ・実施種目および順序は、天候や施設コンディションなどの都合で変更になることがある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス・ソフトボール（１）		授業ガイダンス・スローピッチソフトボールの基本技術の理解		
		2週	ソフトボール（２）		基本技術（スローイング、キャッチング、バッティング）を修得・ゲーム		
		3週	ソフトボール（３）		基本技術（スローイング、キャッチング、バッティング）を修得・ゲーム		
		4週	ソフトボール（４）		基本技術（スローイング、キャッチング、バッティング）を修得・ゲーム		
		5週	ソフトボール（５）		スキルテスト・ゲーム		
		6週	ニュースポーツ（１）		グランドゴルフの基本技術・基本ルールの理解		
		7週	バレーボール（１）		基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）の理解・ゲーム		
		8週	バレーボール（２）		基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を修得・ゲーム		
	4thQ	9週	バレーボール（３）		基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を修得・ゲーム		
		10週	バレーボール（４）		基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を修得・ゲーム		
		11週	バレーボール（５）		スキルテスト・ゲーム		
		12週	ニュースポーツ（２）		ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールの理解		
		13週	ニュースポーツ（３）		ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールの理解		
		14週	ニュースポーツ（４）		ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールの理解		
		15週	ニュースポーツ（５）		スキルテスト・ゲーム		
		16週	期末試験				
評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	演習課題・発表・実技・成果物	合計
総合評価割合	0	70	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	70	0	0	0	0	70
応用力	0	0	0	0	0	30	30